

ファッション文化専門学校DOREME 実務経験のある教員等による授業科目一覧

学科	アーツ&クラフト学科
専攻	レザーワーク専攻

授業科目	1年次		2年次		実務経験者 科目時間	ページ数
	単位 時間数	実務経験 教員	単位 時間数	実務経験 教員		
デジタル基礎	72	○			72	3
デジタル基礎Ⅱ			72	○	72	20
グッズメイキング	72	○	72	○	144	4,21
造形デザイン	36					5
ACゼミナール	36	○	144	○	180	6,22
彫金	126	○			126	7
ワックスワーク	72	○			72	8
クラフトデザイン	18	○	36	○	54	9,23
レザーワーク	72	○	72	○	144	10,24
色彩学	36	○			36	11
マーチャндаイジング	18	○			18	12
AC概論	36	○			36	13
F.コーディネーション	36	○			36	14
キャリア開発			18	○	18	25
ACワーク	72	○	36	○	108	15,26
ACワーク(選択)			108	○	108	27
オープン実習	144	○	144	○	288	16,28
卒制ワーク			36	○	36	29
ファッションイベント	68	○	68	○	136	17,29
進級制作	72	○			72	18
卒業制作			72	○	72	30
計	986	950	878	878	1828	

アーツ&クラフト学科
レザーワーク専攻 1年次 教育課程

教育課程

学科名	アーツ&クラフト	履修年次	1
コース名	レザーワーク	単 位	4
科目名	デジタル基礎	授業期間	前期 後期 通年
担当教員名	菅野 一磨		必修 選択
授業方法	講義 演習 実習	授業時間数	72
実務教員	○	(株)カワノにて販売、VMDを経験。実際に店頭POPやポスターなどを制作していた講師が売れる商品の作り方、PR方法を教授する。在学中にデザイン画について専門的に学び、イラストデザインを提供していた経験も持つ。	
授業の到達目標 及びテーマ	i-padを使用し、ネット販売や商品企画に必要なアプリを一通り使えるよう、基礎を学ぶ。		
授業の概要	i-padのアプリ、主にプロクリエイトを使用し、画像編集、動画制作、デザイン制作が出来るように実技を踏まえて学ぶ。		
授業計画	前 期	4月	授業予定や目標
		5月	デザインとは
		6月	画像編集
		7月	↓
		8月	↓
		9月	動画制作
	後 期	10月	↓
		11月	デザイン企画
		12月	↓
		1月	応用実践
		2月	
		3月	
		3月	
教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する		
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：出席率50% 課題50%		

教育課程

学科名	アーツ&クラフト	履修年次	1
コース名	レザーワーク	単 位	4
科目名	グッズメイキング	授業期間	前期 後期 (通年)
担当教員名	菅野 一磨	(必修)	選択
授業方法	講義 (演習) 実習	授業時間数	72
実務教員	○ (株)カワノにて販売、VMDを経験。実際に店頭POPやポスターなどを制作していた講師が売れる商品の作り方、PR方法を教授する。在学中にデザイン画について専門的に学び、イラストデザインを提供していた経験も持つ。		
授業の到達目標及びテーマ	レザー素材+アルファ ミシン仕立てのファッション商品を研究・制作する。 素材の知識 ミシンの種類と扱い方 美しい仕立てなどを知る 学ぶ トータルコーディネート またはデザインバリエーションの考え方を養う		
授業の概要	基本的素材の種類・特徴が理解できる。 取扱いや手入れが正しくできる。 効果的な素材同士の組み合わせができ、オリジナルの表現に幅が 広がることを目的とする。 素材の持つファッション性を判断できるセンスを養う。		
授業計画	前期	4月	マテリアルとは何か 基本的素材について 天然・化学の違い
		5月	ミシン体験 練習布使用 ミシン課題①エプロン レザー+デニム 完成後・授業で使用
		6月	条件：型紙の作り方 裁断の注意点 ミシンの扱い方 ミシン課題②トートバッグ レザー+デニム 完成後・授業で使用
		7月	条件：ファスナー付き ポケット付き 持ち手付き 完成 展示目標
		8月	
		9月	制作物まとめ プレゼン 評価
	後期	10月	課題③ 帽子 条件：2種類以上の素材ミックス すべて曲線で成り立つパターン（型紙づくり）から制作まで
		11月	課題④ カット&ソー（ロンT） 条件：特殊ミシン使用 伸びる素材を扱う 特別な仕立て方にて制作
		12月	制作物まとめ プレゼン
		1月	進級制作（ゼミナールと連動した指導とする）
		2月	〃
		3月	制作物まとめ プレゼン 評価
		教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：出席率30% 授業態度20% 課題30% プレゼンテーション20%		

学科名	アーツ&クラフト		履修年次	1
コース名	レザーワーク		単 位	2
科目名	造形デザイン		授業期間	前期 後期 通年
担当教員名	西條 綾子		必修	選択
授業方法	講義	演習 実習	授業時間数	36
実務教員	×			
授業の到達目標 及びテーマ	限られた条件の中でアイデアを膨らませ形にする制作を通じ、自分の個性を伸ばし伝えたいイメージを的確に表現できるようにする。 また物を正しく見るトレーニングで右脳を活性化し、集中して楽に正しく描けるようになる。自分の中の可能性を実感し、自信を持つ。			
授業の概要	平面における色と形による基本的な表現の基礎を学び実践する。 色の再現を通じて各自が使う色域の範囲を広げる。 対象物を様々な見方で描く実習を行い、見方と描き方の変化を検証する。			
授業計画	前期	4月	パターンデザイン	物を見るトレーニング・トレーニングの説明 トレーニング前の記録・自分の顔
		5月	パターンデザイン	物を見るトレーニング・逆に描く すばやく見る
		6月	パターンデザイン 屋外デッサン	ゆっくり見る
		7月	色の模写	対象物と背景の捉え方 光と影の描き方①
		8月	色の模写	光と影の描き方②
		9月	ミクスドメディア コラージュ	記号化の理解とそこから逃れる方法 自分の顔・トレーニング成果の検証
		10月	ミクスドメディア・コラージュ	
	後期	11月	ヴィジュアルブック	
		12月	ヴィジュアルブック	
		1月	デッサン	
		2月	授業のまとめ	
		3月		
	教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する		
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：課題提出状況40% 課題完成度40% 授業態度20%			

教育課程

学科名	アーツ&クラフト	履修年次	1
コース名	レザーワーク	単 位	2
科目名	ACゼミナール	授業期間	前期 <input checked="" type="radio"/> 後期 通年
担当教員名	菅野 敦子		<input checked="" type="radio"/> 必修 選択
授業方法	講義 <input checked="" type="radio"/> 演習 実習	授業時間数	36
実務教員	○ 銀座三愛（現(株)Ai）にて商品企画、マーチャンドライザーを担当した教員が、アパレル産業の実状やショップ、ブランドのあり方を教える。		
授業の到達目標 及びテーマ	自己表現からの売れる商品への付加価値の創出		
授業の概要	企画トレーニングと自己理解の追求		
授業計画	前期	4月	
		5月	
		6月	
		7月	
		8月	
		9月	
	後期	10月	オリジナルTシャツ商品企画 イメージマップ制作
		11月	Tシャツデザイン テーマ、コンセプトからのデザイン発想
		12月	プレゼンテーションボード制作 プレゼンテーション実践
		1月	自己分析 進級制作 テーマ決定
		2月	進級制作
		3月	進級制作
教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する		
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：出席率25% 課題25% 授業態度25% 実技25%		

教育課程

学科名	アーツ&クラフト	履修年次	1
コース名	レザーワーク	単 位	8
科目名	彫金	授業期間	前期 後期 通年
担当教員名	増田 周一		必修 選択
授業方法	講義 演習 実習	授業時間数	126
実務教員	○ 金属工房「Kazaribito 飾人」の代表を務め、金属作家として精力的に作品作りをしている。彫金の技術だけでなく、作家としてのあり方、デザインとは何かを総合的に教える。		
授業の到達目標 及びテーマ	道具の使い方、ロー付けや磨きなどの基礎を学ぶ		
授業の概要	地金を使った装身具の制作		
授業計画	前期	4月	道具作り
		5月	甲丸リングの制作
		6月	平打ちリングの制作
		7月	真鍮版のすり抜き ↓
		8月	↓
		9月	↓
	後期	10月	板枠のパーツ制作
		11月	丁番や留め具のパーツ制作
		12月	箱物制作 ↓
		1月	↓
		2月	↓
		3月	↓
教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する		
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：出席率50% 課題30% 実技20%		

教育課程

学科名	アーツ&クラフト	履修年次	1
コース名	レザーワーク	単 位	4
科目名	ワックスワーク	授業期間	前期 後期 通年
担当教員名	増田 周一		必修 選択
授業方法	講義 演習 実習	授業時間数	72
実務教員	○ 金属工房「Kazaribito 飾人」の代表を務め、金属作家として精力的に作品作りをしている。彫金の技術だけでなく、作家としてのあり方、デザインとは何かを総合的に教える。		
授業の到達目標 及びテーマ	道具の使い方から制作までの基礎を学ぶ		
授業の概要	WAX素材から造る装身具の制作		
授業計画	前 期	4月	道具作り
		5月	月型甲丸リングの制作
		6月	ペンダントの制作
		7月	リングの制作
		8月	↓
		9月	↓
	後 期	10月	中空立体ペンダントの制作
		11月	↓
		12月	モチーフリングの制作(動物)
		1月	↓
		2月	↓
		3月	↓
		教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：出席率50% 課題30% 実技20%		

教育課程

学科名	アーツ&クラフト	履修年次	1
コース名	レザーワーク	単 位	1
科目名	クラフトデザイン	授業期間	前期 (後期) 通年
担当教員名	増田 周一		(必修) 選択
授業方法	講義 (演習) 実習	授業時間数	18
実務教員	○ 金属工房「Kazaribito 飾人」の代表を務め、金属作家として精力的に作品作りをしている。彫金の技術だけでなく、作家としてのあり方、デザインとは何かを総合的に教える。		
授業の到達目標 及びテーマ	正確な立体物の図面やデザイン画を描く		
授業の概要	制作物に対するデザイン画を描く		
授業計画	前期	4月	
		5月	
		6月	
		7月	
		8月	
		9月	
	後期	10月	宝石のデザイン画
		11月	指輪のトレース ↓
		12月	↓
		1月	3面図
		2月	オリジナルアクセサリーのデザイン画 ↓
		3月	↓
教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する		
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：出席率50% 課題30% 実技20%		

教育課程

学科名	アーツ&クラフト	履修年次	1
コース名	レザーワーク	単 位	4
科目名	レザーワーク	授業期間	前期 後期 通年
担当教員名	三澤 則行		必修 選択
授業方法	講義 演習 実習	授業時間数	72
実務教員	○ スパイク・リーなどの世界的映画監督や俳優、宮内庁にも靴の制作実績を持つ宮城県出身の靴職人。2022年にも世界的の靴コンクールで優勝を果たす。精力的に制作をする傍ら、地元宮城の学生に靴・ものづくりの楽しさを教える。		
授業の到達目標 及びテーマ	手製の本格的な靴作りの制作を学ぶ。これにより生活必需品であるとともにファッションアイテムでもある靴がどのような工程で作られるのかを実技で理解する。		
授業の概要	靴を1足仕上げるまでの工程を、オンライン・実地のハイブリッド授業で教授する。		
授業計画	前期	4月	デザインを起こす、木型の型どり、デザインを木型に描く、スタンダードフォームの作成、型紙の作成
		5月	型紙の作成、仮靴の製作（革の裁断、加工）
		6月	仮靴の製作続き（縫製、吊り込み）、本靴の製作（アッパーメイキングー裁断、加工、芯の製作、中底の製作、アッパーの下加工、縫製）
		7月	本靴の製作続き（吊り込み）
		8月	
		9月	本靴の製作続き（底付け一本底の加工、本底の加工と接着、ドブ起こし、縫い糸の加工、マッケイ縫い）
	後期	10月	本靴の製作続き（かかとつけ一本底の固定、ヒール革の積み上げ、トップリフトの取り付け）
		11月	本靴の製作続き（かかとつけーあごの成型、かかとの断面成型、仕上げーかかと、コバの仕上げ、本底の仕上げ、染色）
		12月	本靴の製作続き（仕上げー底の磨き、オイルクリーム仕上げ、木型抜き、中底の処理と中敷製作、紐通し）
		1月	補講
		2月	補講
		3月	
		3月	
教科書・参考書等	三澤則行「紳士靴を仕立てる」その他必要に応じて、その都度提示する。		
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：出席率50%、授業態度20%、実技30%		

学科名	アーツ&クラフト		履修年次	1
コース名	レザーワーク		単 位	2
科目名	色彩学		授業期間	前期 後期 (通年)
担当教員名	相田 志		(必修)	選択
授業方法	(講義) 演習 実習	授業時間数	36	
実務教員	○	(株)オンワード樫山の営業、バイヤー、VMDとして活躍した後、office i代表として人材育成に勤しむ講師がファッション業界の様々な知識を教授する。		
授業の到達目標 及びテーマ	色相環とトーン表を理解することで色が出来る仕組み=混色を学ぶ 色彩調和論の基本から色から伝わるイメージを理解する 色彩検定3級合格を必達し、自主的に2級を取得する力を付ける			
授業の概要	色彩の基本を理解し、配色の基本、カラーが伝えるイメージを理解する。 アパレルにおけるカラーの重要性を理解し、色によって感じ方の違いを学ぶ。			
授業計画	前期	4月	2019SS、AWコレクションよりトレンドカラーを知る。	
		5月	PCCSの色相環とトーン表を理解する 絵具を使って混色を実践。色はどうやってできるのか？	
		6月	色相環とトーン表より色の特性を学ぶ 色の持つイメージを理解する	
		7月	光と色 色はなぜ見えるのかという科学的な根拠を学ぶ 目の構造と、「光、物体、視覚」の関係	
		8月	色の三属性 色の視覚的効果	
		9月	色の視覚的効果と知覚的効果 色相、トーンからの配色	
	後期	10月	ファッション、インテリアにおける色彩 3級検定対策問題	
		11月	3級検定対策問題 試験後は2級基礎～マンセル表色系	
		12月	JISの色名と系統色名 ナチュラルハーモニーとコンプレックスハーモニー	
		1月	自然から学ぶ色彩 配色技法応用	
		2月	光の性質と色 照明の知識	
		3月		
		3月		
教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する			
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：出席率50%、課題提出25%、期末試験25%			

教育課程

学科名	アーツ&クラフト	履修年次	1
コース名	シルバーアクセサリー&ジュエリー	単 位	1
科目名	マーチャンダイジング	授業期間	前期 後期 通年
担当教員名	菅野 敦子		必修 選択
授業方法	講義 演習 実習	授業時間数	18
実務教員	○ 銀座三愛（現(株)Ai）にて商品企画、マーチャンダイザーを担当した教員が、アパレル産業の実状やショップ、ブランドのあり方を教える。		
授業の到達目標及びテーマ	アパレル産業の業界知識、トレンドや店舗情報、仕入、商品構成などの視点から、ショップ、ブランドの在り方を探る		
授業の概要	アパレルの川上～川下の流れを掴み、各業態の実状を学ぶ		
授業計画	前期	4月	ファッション業界の仕組み
		5月	ファッションマーケティング知識
		6月	ショップリサーチ グループごとにテーマを決めてマップ制作
		7月	プレゼンテーション 夏季課題(東コレ研究)
		8月	
		9月	企業実習(オリジナルTシャツ作り)
	後期	10月	
		11月	
		12月	
		1月	
		2月	
		3月	
		教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：出席率25% 課題25% 授業態度25% 実技25%		

教育課程

学科名	アーツ&クラフト	履修年次	1
コース名	シルバーアクセサリー&ジュエリー	単 位	2
科目名	AC概論	授業期間	前期 後期 通年
担当教員名	菅野 敦子		必修 選択
授業方法	講義 演習 実習	授業時間数	36
実務教員	○ 銀座三愛（現(株)Ai）にて商品企画、マーチャンダイザーを担当した教員が、アパレル産業の実状やショップ、ブランドのあり方を教える。		
授業の到達目標及びテーマ	デザインコンセプトを生み出せることを目標とする		
授業の概要	近代の美術様式から、アールデコ、アールヌーボーの建築、工芸、文様、家具、洋服、ジュエリーなどの特徴を把握し、時代性と作家、作品などの研究を行う。		
授業計画	前期	4月	アントニ・ガウディ、ルネ・ラリック デザインの発想
		5月	フリーマーケットに向けての商品企画、制作
		6月	デザイン画トレーニング
		7月	ジュエリー画トレース指導
		8月	↓
		9月	↓
		10月	
	後期	11月	
		12月	
		1月	
		2月	
		3月	
		教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：出席率50% 課題50%		

学科名	アーツ&クラフト		履修年次	1
コース名	シルバーアクセサリ&ジュエリー		単 位	2
科目名	ファッションコーディネート		授業期間	前期 後期 通年
担当教員名	菅野 敦子		必修	選択
授業方法	講義	演習 実習	授業時間数	36
実務教員	○	銀座三愛（現(株)Ai）にて商品企画、マーチャンダイザーを担当した教員が、アパレル産業の実状やショッ、ブランドのあり方を教える。		
授業の到達目標及びテーマ	ファッションに必要なコンセプトメイキングツールとしての要素の基礎を学ぶ			
授業の概要	多種多様な雑誌を利用し、マップ作りの基礎、プレゼンテーションの基礎を学ぶ			
授業計画	前期	4月	ファッション学に関するオリエンテーション 「自分にとってのファッション観とは？」	
		5月	ファッションを文化と捉え、ファッションを構成する4大テーマを映像学習し、レポートを作成する	
		6月	・人はなぜ装うのか？ ・世界のファッションデザイナー ・素材 ・色彩	
		7月	オケーションスタイリング(TPOの概念から対応するベストコーディネートの提案、マップ作り)	
		8月	ライフスタイリング→クラスター分析 ・衣食住+遊休知美というカテゴリーの把握から客層分類へ発展	
		9月	ライフスタイリングのマップ作り プレゼンテーション	
	後期	10月		
		11月		
		12月		
		1月		
		2月		
		3月		
		教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する	
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：課題50% 出席率50%			

教育課程

学科名	アーツ&クラフト	履修年次	1
コース名	シルバーアクセサリ- & ジュエリー	単 位	2
科目名	ACワーク	授業期間	前期 後期 (通年)
担当教員名	菅野 一磨	(必修)	選択
授業方法	講義 演習 (実習)	授業時間数	72
実務教員	○	(株)カワノにて販売、VMDを経験。実際に店頭POPやポスターなどを制作していた講師が売れる商品の作り方、PR方法を教授する。在学中にデザイン画について専門的に学び、イラストデザインを提供していた経験も持つ。	
授業の到達目標 及びテーマ	授業で学んだ技術を更に向上させ、学外での販売会や作品展の為に制作を行う。		
授業の概要	アーツ&クラフト学科にて受講している授業における、課題制作を行う。		
授業計画	前期	4月	面談 授業振り返り
		5月	制作、販売
		6月	
		7月	
		8月	
		9月	
	後期	10月	
		11月	
		12月	
		1月	
		2月	↓
		3月	
		教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：出席率50% 課題50%		

教育課程

学科名	アーツ&クラフト	履修年次	1
コース名	シルバーアクセサリ&ジュエリー	単 位	4
科目名	オープン実習	授業期間	前期 後期 通年
担当教員名	各学科担当者、講師		必修 選択
授業方法	講義 演習 実習	授業時間数	144
実務教員	○ (株)アングローバル、日本毛皮教会理事、ミシンメーカー営業、(株)ユニクロ、(株)三越伊勢丹ホールディングス、(株)AZOTH、Ana Dapuzzoデザイナー、Hanaemori Manuscritデザイナー、Keisuke Kandaデザイナー等が特別講師として講義、ワークショップを行う		
授業の到達目標及びテーマ	外部講師を招いての特別講義で社会のニーズと専門知識を学ぶ。学生個々やグループでの作品制作を通じて各自の個性を伸ばし、協調性を養う。学外実習や見学と通じ社会のしくみや繋がりを経験する。		
授業の概要	学外講師を招いての特別講義・ワークショップ 学外実習のための準備と制作 企業や文化施設、展示会等の見学、実習		

授業計画	前期	4月	対面式練習(2年) キャリア開発(2年) 校内企業説明会 コミュニケーション(1年)
		5月	ミシン・ロックミシン講習(1年) 特別教養講座(毛皮)(2年)
		6月	フリーマーケット実習(2年) 東京研修旅行(2年) 卒業生による特別講義Ⅰ
		7月	学校見学会用ファッションショー準備と制作 デザイン研究(デザイン造形学科)
		8月	アートフラワー(デザイン造形学科)
		9月	ファッションセミナー 企業研修(ファッションビジネス学科、アーツ&クラフト学科)
	後期	10月	
		11月	卒業生による特別講義Ⅱ
		12月	フォーマルファッション講座(2・3年)
		1月	ファッションイベント準備と制作
		2月	ファッションイベント本番
		3月	キャリア開発(1年)

教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する
評価方法	A~D・E 評価 評価基準：出席状況 90% 課題(レポート等) 提出状況 10%

教育課程

学科名	アーツ&クラフト	履修年次	1
コース名	シルバーアクセサリ&ジュエリー	単 位	2
科目名	ファッションイベント	授業期間	前期 <input checked="" type="radio"/> 後期 <input type="radio"/> 通年 <input type="radio"/>
担当教員名	菅野 一磨	<input checked="" type="radio"/> 必修 <input type="radio"/> 選択	
授業方法	講義 演習 <input checked="" type="radio"/> 実習	授業時間数	68
実務教員	○ (株)カワノにて販売、VMDを経験。実際に店頭POPやポスターなどを制作していた講師が売れる商品の作り方、PR方法を教授する。在学中にデザイン画について専門的に学び、イラストデザインを提供していた経験も持つ。		
授業の到達目標及びテーマ	縦割り活動であるファッションショー制作を行うことで、他学科の生徒ともコミュニケーションを図り、社会人基礎力に繋げる。主体的に行動する力、コミュニケーション能力を養い、成長に繋げる。		
授業の概要	ファッションショーの制作 演出、モデル、音響、映像、照明、広報、メイク、フィッター等各係に分かれて活動を行う。		
授業計画	前期	4月	
		5月	
		6月	学校テーマ発表
		7月	
		8月	
		9月	
	後期	10月	卒業制作
		11月	
		12月	卒業制作審査会
		1月	ファッションショー作品確定 モデル選考、ショー構成、テクニカル打ち合わせ
		2月	練習、PR ファッションショー本番
		3月	
		3月	
教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する		
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：出席率100%		

教育課程

学科名	アーツ&クラフト	履修年次	1
コース名	シルバーアクセサリ- & ジュエリー	単 位	2
科目名	進級制作	授業期間	前期 <input checked="" type="radio"/> 後期 通年
担当教員名	菅野 一磨		<input checked="" type="radio"/> 必修 選択
授業方法	講義 演習 <input checked="" type="radio"/> 実習	授業時間数	72
実務教員	○ (株)カワノにて販売、VMDを経験。実際に店頭POPやポスターなどを制作していた講師が売れる商品の作り方、PR方法を教授する。在学中にデザイン画について専門的に学び、イラストデザインを提供していた経験も持つ。		
授業の到達目標 及びテーマ	年間で学んだ技術の総まとめを行う。学びの内容をプレゼンテーションし、客観的に自身のスキルやデザインの方向性を振り返る。次年度に向けての目標も再確認する。		
授業の概要	各教科の最終課題の製作を行い、制作物の物撮り、プレゼンテーション動画の制作、発表を行う。		
授業計画	前期	4月	
		5月	
		6月	
		7月	
		8月	
		9月	
	後期	10月	進級制作
		11月	
		12月	
		1月	
		2月	
		3月	制作物まとめ プレゼン 評価
		3月	
教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する		
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：出席率30% 授業態度20% 課題30% プレゼンテーション20%		

アーツ&クラフト学科
レザーワーク専攻 2年次 教育課程

教育課程

学科名	アーツ&クラフト	履修年次	2
コース名	レザーワーク	単 位	4
科目名	デジタル基礎Ⅱ	授業期間	前期 後期 (通年)
担当教員名	菅野 一磨	必修	(選択)
授業方法	講義 (演習) 実習	授業時間数	72
実務教員	○	(株)カワノにて販売、VMDを経験。実際に店頭POPやポスターなどを制作していた講師が売れる商品の作り方、PR方法を教授する。在学中にデザイン画について専門的に学び、イラストデザインを提供していた経験も持つ。	
授業の到達目標 及びテーマ	i-padを使用し、ネット販売や商品企画に必要なアプリを一通り使えるよう、応用を学ぶ。		
授業の概要	i-padのアプリ、主にプロクリエイトを使用し、画像編集、動画制作、デザイン制作が出来るように実技を踏まえて学ぶ。		
授業計画	前期	4月	授業予定や目標
		5月	デザインとは
		6月	画像編集
		7月	↓
		8月	↓
		9月	動画制作
	後期	10月	↓
		11月	デザイン企画
		12月	↓
		1月	応用実践
		2月	
		3月	
		教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：出席率50% 課題50%		

教育課程

学科名	アーツ&クラフト	履修年次	2
コース名	レザーワーク	単 位	4
科目名	グッズメイキング	授業期間	前期 後期 (通年)
担当教員名	菅野 一磨	(必修)	選択
授業方法	講義 (演習) 実習	授業時間数	72
実務教員	○ (株)カワノにて販売、VMDを経験。実際に店頭POPやポスターなどを制作していた講師が売れる商品の作り方、PR方法を教授する。在学中にデザイン画について専門的に学び、イラストデザインを提供していた経験も持つ。		
授業の到達目標 及びテーマ	レザー素材+アルファ ミシン仕立てのファッション商品を研究・制作する。 ファッションイメージと素材表現の研究 ファッション性のあるオシャレアイテムを研究・制作・提案する		
授業の概要	8大ファッションの確認とそこからセレクトしたマップづくり ファッションイメージに沿ったデザインができるようなトレーニングを意識する ファッショングッズ提案 イメージマップ・デザイン・素材手配・パターン 実物制作・撮影 まとめ		
授業計画	前期	4月	イメージ表現(素材)のリサーチ
		5月	マップ制作 デザイン提出 制作物決定(2点以上)
		6月	実物制作 *後期までに自分の得意分野(方向性と技法)を探ることも兼ねる
		7月	〃
		8月	〃
		9月	制作物撮影 カタログまとめ (トータルコーディネート提案) プレゼン 評価
	後期	10月	卒業制作 ゼミナールのスケジュールに準ずる
		11月	個人指導 (取り組みたい素材や技法について研究してゆく) 〃
		12月	〃 審査
		1月	ファッションイベントにて 最終的な表現を完成させる
		2月	〃
		3月	評価
		3月	
教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する		
評価方法	A~D・E 評価 評価基準：出席率30% 授業態度20% 課題30% プレゼンテーション20%		

教育課程

学科名	アーツ&クラフト	履修年次	2
コース名	レザーワーク	単 位	8
科目名	ACゼミナール	授業期間	前期 後期 (通年)
担当教員名	菅野 敦子	(必修)	選択
授業方法	講義 (演習) 実習	授業時間数	144
実務教員	○ 銀座三愛（現(株)Ai）にて商品企画、マーチャンドライザーを担当した教員が、アパレル産業の実状やショッップ、ブランドのあり方を教える。		
授業の到達目標 及びテーマ	ファッションビジネスまたはアート出店への実学		
授業の概要	フリーマーケット出展企画を通して、出店の仕組みを学ぶ		
授業計画	前期	4月	フリーマーケット実習
		5月	オリジナルTシャツ制作 委託商品の募集
		6月	企画から制作、仕入れ、管理、販売の流れを学ぶ
		7月	私の世界観(夏季課題)
		8月	リアルマーケティングリサーチ
		9月	卒業制作の企画概要
	後期	10月	卒業制作 ↓
		11月	
		12月	↓
		1月	ファッションイベントに向け、作品のブラッシュアップ
		2月	
		3月	
		教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：出席率25% 課題25% 授業態度25% 実技25%		

教育課程

学科名	アーツ&クラフト	履修年次	2
コース名	レザーワーク	単 位	2
科目名	クラフトデザイン	授業期間	前期 後期 通年
担当教員名	増田 周一		必修 選択
授業方法	講義 演習 実習	授業時間数	36
実務教員	○	金属工房「Kazaribito 飾人」の代表を務め、金属作家として精力的に作品作りをしている。彫金の技術だけでなく、作家としてのあり方、デザインとは何かを総合的に教える。	
授業の到達目標 及びテーマ	正確な立体物のデザイン画を描く		
授業の概要	制作物に対するデザイン画を描く		
授業計画	前期	4月	オリジナルアクセサリーデザイン画
		5月	
		6月	
		7月	
		8月	
		9月	↓
	後期	10月	卒業制作物のデザイン画
		11月	
		12月	↓
		1月	
		2月	
		3月	
		教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：出席率50% 課題30% 実技20%		

教育課程

学科名	アーツ&クラフト	履修年次	2
コース名	レザーワーク	単 位	4
科目名	レザーワーク	授業期間	前期 後期 (通年)
担当教員名	黒澤 亮一	(必修)	選択
授業方法	講義 (演習) 実習	授業時間数	72
実務教員	○ 1969inc代表として革製品の修理、注文制作を行う。仙台を代表するレザー作家。		
授業の到達目標 及びテーマ	手袋、サンダル、服など身につける革物の制作		
授業の概要	デザインも大事だが、着やすい、使いやすいものを作れるようになる		
授業計画	前期	4月	サンダル カービングorスタッズ
		5月	サンダル カービングorスタッズ
		6月	手袋
		7月	手袋
		8月	ジャンパーorコート
		9月	↓
	後期	10月	↓
		11月	オリジナル
		12月	↓
		1月	↓
		2月	↓
		3月	↓
		教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：課題100%		

教育課程

学科名	アーツ&クラフト	履修年次	2
コース名	レザーワーク	単 位	1
科目名	キャリア開発	授業期間	○前期 後期 通年
担当教員名	菅野 麻那		○必修 選択
授業方法	○講義 演習 実習	授業時間数	18
実務教員	○ (株)ファーストリテーリング、(株)三越伊勢丹ホールディングスにてキャリアを積んだ講師が、コミュニケーション能力、社会人基礎力の向上に繋がる講義を行う。チームビルディングや自己分析を行い、アパレル業界で必須の能力を養う。		
授業の到達目標及びテーマ	就職活動や進路決定への不安を取り除き、全員が進路決定出来る様サポートする		
授業の概要	面接練習、グループディスカッション対策を行い、就職活動への恐怖心を和らげる。就職支援だけでなく、社会人としての教養も養い、卒業へ向けての準備をさせる		
授業計画	前期	4月	履歴書の書き方 受かるエントリーシートとは
		5月	敬語の使い方 適性検査対策 (SPI,一般常識問題) 集団面接対策
		6月	グループディスカッション対策 個人面接対策
		7月	グループディスカッション対策 個人面接対策
		8月	お金に関する学習 (クレジットカード、各種保険、年金、税金、生活費等)
		9月	将来のキャリア形成について (人生設計、卒業後の目標)
	後期	10月	
		11月	
		12月	
		1月	
		2月	
		3月	
		教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：出席率100%		

教育課程

学科名	アーツ&クラフト	履修年次	2
コース名	レザーワーク	単 位	1
科目名	ACワーク	授業期間	前期 後期 通年
担当教員名	菅野 一磨		必修 選択
授業方法	講義 演習 実習	授業時間数	36
実務教員	○ (株)カワノにて販売、VMDを経験。実際に店頭POPやポスターなどを制作していた講師が売れる商品の作り方、PR方法を教授する。在学中にデザイン画について専門的に学び、イラストデザインを提供していた経験も持つ。		
授業の到達目標及びテーマ	他授業で与えられる作品の制作課題を完成させる。又は外部講師の作業現場や展覧会を見学し、作品制作におけるイメージーションを養う。		
授業の概要	・ 作品制作 ・ 課外授業		
授業計画	前期	4月	作品制作 課外授業
		5月	
		6月	
		7月	
		8月	
		9月	
	後期	10月	卒業制作準備
		11月	卒業制作準備
		12月	卒業制作準備
		1月	ファッションイベント準備
		2月	ファッションイベント準備
		3月	▼
教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する		
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：出席率20% 課題40% 授業態度40%		

教育課程

学科名	アーツ&クラフト	履修年次	2
コース名	レザーワーク	単 位	4
科目名	オープン実習	授業期間	前期 後期 通年
担当教員名	各学科担当者、講師		必修 選択
授業方法	講義 演習 実習	授業時間数	144
実務教員	○ (株)アングローバル、日本毛皮教会理事、ミシンメーカー営業、(株)ユニクロ、(株)三越伊勢丹ホールディングス、(株)AZOTH、Ana Dapuzzoデザイナー、Hanaemori Manuscritデザイナー、Keisuke Kandaデザイナー等が特別講師として講義、ワークショップを行う		
授業の到達目標 及びテーマ	外部講師を招いての特別講義で社会のニーズと専門知識を学ぶ。学生個々やグループでの作品制作を通じて各自の個性を伸ばし、協調性を養う。学外実習や見学と通じ社会のしくみや繋がりを経験する。		
授業の概要	学外講師を招いての特別講義・ワークショップ 学外実習のための準備と制作 企業や文化施設、展示会等の見学、実習		

授業計画	前期	4月	対面式練習(2年) キャリア開発(2年) 校内企業説明会 コミュニケーション(1年)
		5月	ミシン・ロックミシン講習(1年) 特別教養講座(毛皮)(2年)
		6月	フリーマーケット実習(2年) 東京研修旅行(2年) 卒業生による特別講義Ⅰ
		7月	学校見学会用ファッションショー準備と制作 デザイン研究(デザイン造形学科)
		8月	アートフラワー(デザイン造形学科)
		9月	ファッションセミナー 企業研修(ファッションビジネス学科、アーツ&クラフト学科)
	後期	10月	
		11月	卒業生による特別講義Ⅱ
		12月	フォーマルファッション講座(2・3年)
		1月	ファッションイベント準備と制作
		2月	ファッションイベント本番
		3月	キャリア開発(1年)

教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：出席状況 90% 課題(レポート等) 提出状況 10%

教育課程

学科名	アーツ&クラフト	履修年次	2
コース名	レザーワーク	単 位	3
科目名	ACワーク（選択）	授業期間	前期 後期 （通年）
担当教員名	菅野 一磨	必修	（選択）
授業方法	講義 演習 （実習）	授業時間数	108
実務教員	○ (株)カワノにて販売、VMDを経験。実際に店頭POPやポスターなどを制作していた講師が売れる商品の作り方、PR方法を教授する。在学中にデザイン画について専門的に学び、イラストデザインを提供していた経験も持つ。		
授業の到達目標 及びテーマ	他授業で与えられる作品の制作課題を完成させる。又は外部講師の作業現場や 展覧会を見学し、作品制作におけるイマジネーションを養う。		
授業の概要	・ 作品制作・ 課外授業		
授業計画	前期	4月	作品制作 課外授業
		5月	
		6月	
		7月	
		8月	
		9月	
	後期	10月	卒業制作準備
		11月	卒業制作準備
		12月	卒業制作準備
		1月	ファッションイベント準備
		2月	ファッションイベント準備
		3月	▼
		教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：出席率20% 課題40% 授業態度40%		

教育課程

学科名	アーツ&クラフト	履修年次	2
コース名	レザーワーク	単 位	2
科目名	卒制ワーク	授業期間	前期 <input checked="" type="radio"/> 後期 通年
担当教員名	菅野 一磨	必修	<input checked="" type="radio"/> 選択
授業方法	講義 演習 <input checked="" type="radio"/> 実習	授業時間数	36
実務教員	○ (株)カワノにて販売、VMDを経験。実際に店頭POPやポスターなどを制作していた講師が売れる商品の作り方、PR方法を教授する。在学中にデザイン画について専門的に学び、イラストデザインを提供していた経験も持つ。		
授業の到達目標 及びテーマ	卒業制作作品の製作を満足のものにする		
授業の概要	・ 作品制作 ・ 課外授業		
授業計画	前期	4月	
		5月	
		6月	
		7月	
		8月	
		9月	
	後期	10月	卒業制作準備
		11月	卒業制作準備
		12月	卒業制作準備
		1月	ファッションイベント準備
		2月	ファッションイベント準備
		3月	
教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する		
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：出席率20% 課題40% 授業態度40%		

教育課程

学科名	アーツ&クラフト	履修年次	2
コース名	レザーワーク	単 位	2
科目名	ファッションイベント	授業期間	前期 <input checked="" type="radio"/> 後期 <input type="radio"/> 通年 <input type="radio"/>
担当教員名	菅野 一磨	<input checked="" type="radio"/> 必修 <input type="radio"/> 選択	
授業方法	講義 演習 <input checked="" type="radio"/> 実習	授業時間数	68
実務教員	○ (株)カワノにて販売、VMDを経験。実際に店頭POPやポスターなどを制作していた講師が売れる商品の作り方、PR方法を教授する。在学中にデザイン画について専門的に学び、イラストデザインを提供していた経験も持つ。		
授業の到達目標及びテーマ	縦割り活動であるファッションショー制作を行うことで、他学科の生徒ともコミュニケーションを図り、社会人基礎力に繋げる。主体的に行動する力、コミュニケーション能力を養い、成長に繋げる。		
授業の概要	ファッションショーの制作 演出、モデル、音響、映像、照明、広報、メイク、フィッター等各係に分かれて活動を行う。		
授業計画	前期	4月	
		5月	
		6月	学校テーマ発表
		7月	
		8月	
		9月	
	後期	10月	卒業制作
		11月	
		12月	卒業制作審査会
		1月	ファッションショー作品確定 モデル選考、ショー構成、テクニカル打ち合わせ
		2月	練習、PR ファッションショー本番
		3月	
		3月	
教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する		
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：出席率100%		

教育課程

学科名	アーツ&クラフト	履修年次	2
コース名	レザーワーク	単 位	2
科目名	卒業制作	授業期間	前期 <input checked="" type="radio"/> 後期 通年
担当教員名	菅野 敦子		<input checked="" type="radio"/> 必修 選択
授業方法	講義 演習 <input checked="" type="radio"/> 実習	授業時間数	72
実務教員	○	銀座三愛（現(株)Ai）にて商品企画、マーチャンドライザーを担当した教員が、アパレル産業の実状やショップ、ブランドのあり方を教える。	
授業の到達目標 及びテーマ	卒業制作を悔いのないものにし、学生生活の集大成とする。学内テーマと個人テーマを追求し、メッセージ性の強い作品を作りあげる。		
授業の概要	卒業制作作品のテーマ設定、作品制作、企画書・資料集の作成、プレゼンテーション準備		
授業計画	前期	4月	
		5月	
		6月	
		7月	
		8月	
		9月	
	後期	10月	卒業制作準備
		11月	卒業制作準備
		12月	卒業制作準備 評価1
		1月	ファッションイベント準備 評価1を受けて修正
		2月	ファッションイベント準備 発表
		3月	
教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する		
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：出席率20% 課題40% 授業態度40%		